

鹿児島サンロイヤルホテル移転に関する要望書

令和6年8月2日

鹿児島県知事
塩田 康一 様

提出者
住所 鹿児島市与次郎1丁目8番10号
氏名 鹿児島国際観光株式会社
(鹿児島サンロイヤルホテル)
代表取締役社長 下津 昭則
電話 099-253-2020

住吉町15番街区への鹿児島サンロイヤルホテル移転について

要望の趣旨

鹿児島県におかれましては、日頃より当ホテルの経営に関しまして多大なるご尽力を頂いており、感謝申し上げます。

さて、当社は第三セクターとして昭和47年の鹿児島国体の開会に合わせ開業し、今年創業51年となりましたが、ホテル躯体の経年劣化も進み、コロナ禍で一時凍結しておりました耐震改修工事も収益性の伴わない投資であるとの判断で断念致しました。

また、今後想定される更新投資も多額の負担となることから、経営の存続のためにさまざまな角度から議論した結果、本日の臨時取締役会において経営持続性を担保する為の唯一の手段は移転新築であり、その移転先についても複数検討した結果、県有地である住吉町15番街区一部の一部を借り受け、新築することが最適であるとの判断を致しました。

当社は、年間約50万人の来館者と約11万人の宿泊客があり、客室やバンケットなどのコンベンション機能を生かし、鹿児島県の観光・スポーツ振興のために全役職員で取り組んで参りました。また、住吉町15番街区一部へ移転新築することによって、県が計画されている県スポーツコンベンションセンターとの連携、鹿児島本港区エリアコンセプトプランで掲げている新たな賑わいや中心市街地との相乗効果の創出など「新たなまちづくり」に貢献出来るものと考えております。

以上のことから当ホテルの新築移転に向けて、住吉町15番街区一部の一部を貸し付けていただくよう要望するものです。

以上